



スポーツを通じて健康・体力づくり

歳出

総務費 17万6千円
 (2501万7千円)
 老人保健拠出金 258万円
 (1億9702万円)
 諸支出金 756万2千円
 (776万8千円)
 予備費 778万4千円
 (1787万2千円)

平成14年度介護保険特別会計補正予算

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ2872万5千円を追加し、総額を5億2572万5千円にしました。

これは、介護保険基金積立金

国庫支出金過年度分返還金などの追加に伴う補正です。()は補正後の総額

歳入
 繰越金 2872万5千円
 (2872万6千円)

歳出
 基金積立金 2010万1千円
 (2012万円)
 諸支出金 862万4千円
 (873万円)

平成14年度下水道事業特別会計補正予算

既定の予算総額から、歳入歳出それぞれ1669万5千円を減額し、総額を8億5416万1千円にしました。

これは、下水道事業の効率的な事業施工を確保するにあたり、前倒しで15年度に実施するため事業認可設計業務委託料の追加補正です。()は補正後の総額

歳入
 繰入金 1669万5千円
 (3779万3千円)

平成14年度水道事業会計補正予算

既定の資本的支出に4444万7千円を追加し、支出総額を2億2771万1千円にしました。

これは、上江黒地内の石綿セメント管更新事業や新里地内の濁り水対策事業、南大島浄水場の濾過施設改造のための追加補正です。

東小プール改築(本体・電気)工事請負契約の締結

明和東小学校プール改築(本体・電気設備)工事のため、建設業者8社による指名競争入札を行った結果、最低入札価格9450万(消費税含む)で荒井建設株式会社(明和町大佐貫)が落札し、議会の議決を得て改築工事請負契約を締結しました。

諮問

人権擁護委員に奈良松男さん推せん

人権擁護委員の瀬下昭一さんが平成15年1月31日をもって任期満了となりますので、後任に奈良松男さん(62歳・田島)を同委員に推せんすることが同意されました。

議員提出議案

意見書の提出

次の意見書を内閣総理大臣等に提出することについて議決されました。

- 地方税源の充実確保に関する意見書

平成13年度決算のあらまし

西小学校屋内運動場整備等に

平成13年度の予算執行に当たっては、国の予算編成方針および国の地方財政計画を指針として執行してまいりました。

13年度の日本経済は、行財政の徹底した効率化を図るために中央省庁の再編という大改革が実施され、公共事業の大幅な見直しを行い、IT革命の推進、環境問題、高齢化対策、都市基盤整備等の推進を図り確実な景気回復の軌道につなげて、我が国経済の再生を図る財政運営が行われてきました。しかし、完全失業率は5.4%と相変わらず高水準で推移し、依然として雇用情勢は厳しく、個人消費も横ばいで推移するなど景気はなかなか回復基調にはならず経過してきたかと思われず。

本町でも厳しい面がありましたが、幸いにも地方交付税が見込額より増額となり、また、業績のよい企業があつたため町税においても増額という状況で、財政運営に多大な貢献をされ健全財政の運営が図られました。このような状況の中でも、従来からの計画的かつ重点的な財源配分など長期的展望に立つての財政運営により、21世紀にふさわしい基盤づくりを目指し、町政を推進してまいりました。

主要事業では、地域学校連携施設として西小学校屋内運動場の改築工事、東・西小学校教室内に扇風機やファンヒーターの設置、庁内情報化システム・本体機器・端末機器等の購入、住民基本台帳ネットワークシステム導入などのハード事業をはじめ、地方分権の担い手である地区自治組織活性化事業、特別養護老人ホーム建設補助事業、広域公共路線バス運行事業などを実施してまいりました。また、このほかの重点事業につきましても、従来からのベースを堅持しながら町道整備等の都市基盤整備、産業の振興、生活環境の整備、健康・福祉の向上、教育文化の向上等、一層の充実を図りながら行政を推進し、所期の目的を達成することができたものと確信しているところです。

これもひとえに、議員の皆様がたをはじめとし、町民各位の深いご理解と温かいご指導、ご協力のためものと心から感謝申し上げます。ここに決算のあらましをお知らせいたします。

明和町長 斎藤 憲